地域社会とともに

各種行事への参加や環境保全活動などに積極的に取り組んでいます。

中国四川省大地震に対し、マッチングファンドで義援金を送金

2008年5月に中国四川省を襲った大地震の被災者に向け、従業員の募金で集まった金額に、その同額を会社が上乗せするという、マッチングファンド方式で義援金を送りました。2005年10月のパキスタン北部大地震の例にならいましたが、今回は募金者の自由意思とプライバシーを最大限尊重した「義援金システム」を立ち上げたこともあり、当社グループを挙げての募金運動となりました。

（株）東北電子エンジニアリングでの募金風景

岩手・宮城内陸地震で無線機提供

東北支社は2008年6月27日に、岩手・宮城内陸地震で、特に被害が大きかった宮城県栗原市の栗駒地区と花山地区に対して、携帯型20台、車載型10台、AC電源装置2台の移動局無線機を提供しました。また、（株）日立国際電気サービス東北支店でもアンテナ10基の提供と据付対応を行いました。

栗原市の一部は、従来から当社の固定系防災行政無線システムを導入していただいていたことから、当社は地震直後から現地入りし、設備の状況確認や点検を実施してきました。

復興作業が進むにつれて通信回線が不足したため、総務省東北総合通信局の許可（臨時の措置）をいただき、無線機を提供しました。当初は商用電源や水道などが復旧していない地域もあったため、提供した無線機は、市の職員の方々によって、役場と土砂災害現場や給水車との連絡など、復興活動に有効に活用されました。

被災直後、防災無線設備を順次点検

イスラエルとパレスチナの和平活動へ貢献

イスラエルとパレスチナでは、和平活動の一環として両国のオリーブ農家40人が共同でオリーブ油を製造し、特産品として輸出を行うプロジェクトが展開されています。当社はその第1号の輸出先となり、会社行事の賞品として200本（500ml瓶）を購入しました。

中東情勢はまだまだ先行き不透明ですが、その中で実現したイスラエルとパレスチナの「草の根」和平に協力できたことは大きな意義がありました。

「平和のオリーブ」

富山市「企業の森づくり事業」に参画

富山八尾中核工業団地に所在を置く3社(当社、（株）国際電気セミコンダクターサービス、国際電気テクノサービス（株））は合同で、富山市が促進している「企業の森づくり事業」に、2009年2月に調印しました。

今後は県や市・環境保護団体のサポートを受けながら、市有地である八尾中核工業団地内の森林約2ヘクタールの下草刈りや里山整備などを行い、私たちの暮らしに欠くことができない富山の森を守り育てていきます。

作業後の集合写真

骨髄バンク説明会を開催

2008年11月、秋葉原UDXビルの本社会議室で当社自主企画の骨髄バンク説明会を開催しました。(財)骨髄移植推進財団様より骨髄提供経験者、骨髄移植経験者を「語りべ」としてお招きいただき、近隣の日立グループからの参加者とともに骨髄移植につき学びました。

骨髄の提供には健康も大事ですが、もし提供が決まり、一旦手術の日程を決めたら変更できない点、職場の理解と協力が不可欠という側面も再認識し、意義深いボランティア・セミナーとなりました。

ボランティア・セミナー「骨髄バンク説明会」

ここに掲載したものの他に、インターネット版の報告書では続編のページを設けて紹介しています。

日立国際電気　CSR報告書　検索